



平成24年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月7日

上場会社名 株式会社レイ 上場取引所 大
 コード番号 4317 URL <http://www.ray.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)分部 至郎
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 (氏名)中村 準三 (TEL)03(5410)3861
 四半期報告書提出予定日 平成23年10月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年2月期第2四半期の連結業績(平成23年3月1日~平成23年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年2月期第2四半期	4,100	8.7	236	23.3	196	23.4	33	△57.3
23年2月期第2四半期	3,772	6.8	192	—	159	—	78	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
24年2月期第2四半期	2	64	2	64
23年2月期第2四半期	6	20	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
24年2月期第2四半期	5,370		1,992		36.4	153	55	
23年2月期	4,574		2,009		43.2	155	07	

(参考) 自己資本 24年2月期第2四半期 1,955百万円 23年2月期 1,975百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
23年2月期	—	0 00	—	4 00	4 00	00
24年2月期	—	0 00	—	—	—	—
24年2月期(予想)	—	—	—	2 00	2 00	—

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成24年2月期の連結業績予想(平成23年3月1日~平成24年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	8,400	△0.4	440	△22.9	375	△26.4	105	△64.5	8	24

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 4「その他」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無
新規 一社 ()、除外 一社 ()

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

- ② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

- (4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

24年2月期2Q	14,328,976株	23年2月期	14,328,976株
24年2月期2Q	1,591,767株	23年2月期	1,591,767株
24年2月期2Q	12,737,209株	23年2月期2Q	12,737,275株

- ② 期末自己株式数

- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
【第2四半期連結累計期間】	7
【第2四半期連結会計期間】	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
(7) 重要な後発事象	12
4. 補足情報	13
(1) 制作、受注及び販売の状況	13

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災により一時的に落ち込んだ購買意欲や自粛モードに回復の動きがみられたものの、欧米の財政問題を背景として、円高の進行や電力供給不足問題などの影響もあり、先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの主要な市場である広告業界においても、震災により、一部の広告主において、広告出稿やキャンペーンの中止・延期が相次ぐ等、広告主各社も広告支出に対する慎重な姿勢は変わらず、厳しい経営環境が続いております。

このような経済状況のもと、当社においてはグループの強みである企画立案から実制作・演出・運営に至るまでの対応の幅広さと提供する品質の高さをもって、ワンストップソリューションでお客様のご要望にお応えできる総合提案力と技術力により、受注拡大と利益の確保に努めました。

この結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は、4,100百万円（前年同期比8.7%増）、営業利益は236百万円（同23.3%増）、経常利益は196百万円（同23.4%増）、四半期純利益は33百万円（同57.3%減）となりました。

当社グループのセグメントの業績は次のとおりであります。

広告ソリューション事業におきましては、第1四半期において不振だったSP・イベント部門が事業環境に一定の改善が見られ、予想以上に受注が堅調に推移し、TVCM部門も、価格競争の激化は相変わらずながら、安定した受注が出来ました。

この結果、広告ソリューション事業は売上高2,142百万円（同28.0%増）、営業利益154百万円（同93.0%増）となりました。

テクニカルソリューション事業におきましては、ポストプロダクション部門は、CM編集を中心としたスタジオ編集業務、映像制作業務が比較的堅調に推移しました。一方、機材レンタル部門はイベントや展示会は回復基調ながら、第1四半期の落ち込みを補填するまでには至りませんでした。

この結果、テクニカルソリューション事業は、売上高1,958百万円（同6.7%減）、営業利益294百万円（同5.2%減）となりました。

（注）第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しており、マネジメントアプローチに基づく報告セグメントの区分に変更しております。しかし、セグメント情報の区分に変更はないため、対前年同四半期比を記載しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

財政状態の状況

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べて22.0%増加し、4,260百万円となりました。これは主に、売掛金が557百万円、その他流動資産が56百万円減少したものの、現金及び預金が1,334百万円、前払費用が39百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて2.5%増加し、1,110百万円となりました。これは主に、長期前払費用が18百万円減少したものの、有形固定資産が59百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて17.4%増加し、5,370百万円となりました。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べて14.7%増加し、2,826百万円となりました。これは主に、買掛金が59百万円、未払法人税等が51百万円、未払金が42百万円減少したものの、短期借入金が400百万円、1年内返済予定の長期借入金が106百万円、その他流動負債が42百万円増加したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて447.5%増加し、551百万円となりました。これは、長期借入金が372百万円、長期リース債務が48百万円、資産除去債務等その他固定負債が30百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて31.7%増加し、3,378百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて0.9%減少し、1,992百万円となりました。これは主に、四半期純利益の計上33百万円により増加したものの、配当により50百万円減少し、利益剰余金が17百万円減少したことによるものであります。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べて1,334百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末は、2,072百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、703百万円(前年同期比413.7%増)となりました。

これは主に、法人税等の支払額が102百万円、仕入債務の減少額が59百万円ありましたが、売上債権の減少額が528百万円、減価償却費128百万円及び税金等調整前四半期純利益110百万円の計上によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は168百万円(前年同期比362.9%増)となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出133百万円及び出資金の払込による支出35百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は800百万円(前年同期は52百万円の使用)となりました。

これは主に、配当金の支払額49百万円がありましたが、長短期借入金の借入額(純額)879百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年2月期の予想数値につきましては、平成23年10月5日発表の「業績予想の修正及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」及び同日付の「特別損失の計上に関するお知らせ」にて修正いたしました。これは、当第2四半期連結会計期間において、特別損失を計上しつつも、売上高や利益が計画を上回ったことによるものです。詳細につきましては、当該資料をご参照下さい。

※上記予想は、現時点で入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る現時点における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している有形固定資産の減価償却については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法によっております。

③ 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

① 資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益は470千円、税金等調整前四半期純利益は25,150千円減少しております。

② 表示方法の変更

（四半期連結損益計算書）

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づき財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用により、当第2四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,072,553	737,807
受取手形	160,826	131,043
売掛金	1,536,287	2,093,354
たな卸資産	285,769	285,883
繰延税金資産	50,906	70,164
前払費用	133,191	93,898
その他	33,754	90,324
貸倒引当金	△12,485	△10,423
流動資産合計	4,260,803	3,492,051
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	308,658	294,686
減価償却累計額	△195,766	△177,971
建物及び構築物 (純額)	112,892	116,714
機械装置及び運搬具	954,330	896,186
減価償却累計額	△569,957	△502,692
機械装置及び運搬具 (純額)	384,373	393,493
工具、器具及び備品	264,961	246,362
減価償却累計額	△190,620	△174,248
工具、器具及び備品 (純額)	74,341	72,113
土地	—	332
リース資産	295,509	196,386
減価償却累計額	△81,409	△53,318
リース資産 (純額)	214,099	143,067
有形固定資産合計	785,706	725,721
無形固定資産		
ソフトウェア	25,498	29,262
その他	7,844	7,851
無形固定資産合計	33,342	37,113
投資その他の資産		
投資有価証券	44,037	48,620
出資金	32,950	31,606
長期貸付金	5,018	5,038
破産更生債権等	75,291	78,984
長期前払費用	9,706	28,092
敷金及び保証金	188,583	189,216
繰延税金資産	14,924	21,345
その他	900	900
貸倒引当金	△80,310	△84,022
投資その他の資産合計	291,102	319,781
固定資産合計	1,110,152	1,082,616
資産合計	5,370,956	4,574,668

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	811,733	871,167
短期借入金	1,300,000	900,000
1年内返済予定の長期借入金	111,100	4,174
リース債務	78,256	51,269
未払法人税等	42,042	93,378
賞与引当金	140,543	166,641
未払金	185,805	228,022
未払消費税等	33,512	37,531
未払費用	39,608	77,110
預り金	19,989	12,862
その他	64,393	22,218
流動負債合計	2,826,985	2,464,375
固定負債		
長期借入金	372,234	—
リース債務	148,900	100,788
その他	30,692	—
固定負債合計	551,826	100,788
負債合計	3,378,812	2,565,163
純資産の部		
株主資本		
資本金	471,143	471,143
資本剰余金	472,806	472,806
利益剰余金	1,288,363	1,305,633
自己株式	△273,684	△273,684
株主資本合計	1,958,628	1,975,898
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△2,810	△718
評価・換算差額等合計	△2,810	△718
新株予約権	36,326	34,324
純資産合計	1,992,143	2,009,504
負債純資産合計	5,370,956	4,574,668

(2) 四半期連結損益計算書

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)
売上高	3,772,984	4,100,903
売上原価	2,574,165	2,823,526
売上総利益	1,198,818	1,277,376
販売費及び一般管理費	1,006,759	1,040,488
営業利益	192,059	236,888
営業外収益		
受取利息	93	54
受取配当金	1,504	1,650
その他	1,080	4,233
営業外収益合計	2,678	5,938
営業外費用		
支払利息	13,690	12,176
出資金運用損	15,913	31,341
その他	5,773	2,650
営業外費用合計	35,377	46,167
経常利益	159,360	196,659
特別利益		
有形固定資産売却益	—	148
貸倒引当金戻入額	4,065	1,517
特別利益合計	4,065	1,665
特別損失		
有形固定資産売却損	—	183
有形固定資産除却損	1,442	516
投資有価証券売却損	743	—
出資金評価損	5,100	—
過年度著作権使用料	—	62,540
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	24,679
特別損失合計	7,285	87,920
税金等調整前四半期純利益	156,140	110,404
法人税、住民税及び事業税	52,302	50,891
法人税等調整額	24,886	25,834
法人税等合計	77,189	76,725
少数株主損益調整前四半期純利益	—	33,678
四半期純利益	78,951	33,678

【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年8月31日)
売上高	1,915,262	2,072,149
売上原価	1,331,628	1,403,478
売上総利益	583,634	668,671
販売費及び一般管理費	509,803	519,838
営業利益	73,830	148,833
営業外収益		
受取利息	93	54
受取配当金	128	230
その他	791	2,241
営業外収益合計	1,013	2,525
営業外費用		
支払利息	6,782	6,277
出資金運用損	3,946	14,253
その他	1,200	1,726
営業外費用合計	11,929	22,257
経常利益	62,914	129,100
特別利益		
有形固定資産売却益	—	148
貸倒引当金戻入額	863	—
特別利益合計	863	148
特別損失		
有形固定資産売却損	—	183
有形固定資産除却損	736	511
投資有価証券売却損	743	—
出資金評価損	5,100	—
過年度著作権使用料	—	62,540
特別損失合計	6,579	63,235
税金等調整前四半期純利益	57,198	66,014
法人税、住民税及び事業税	44,882	43,611
法人税等調整額	△14,126	△4,607
法人税等合計	30,756	39,004
少数株主損益調整前四半期純利益	—	27,009
四半期純利益	26,441	27,009

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	156,140	110,404
減価償却費	74,165	128,600
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	24,679
長期前払費用償却額	1,247	1,385
株式報酬費用	4,337	2,001
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△6,555	△1,650
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2,298	△26,097
受取利息及び受取配当金	△1,598	△1,705
支払利息	13,690	12,176
出資金運用損益 (△は益)	15,913	31,341
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	35
有形固定資産除却損	1,442	516
投資有価証券売却損益 (△は益)	743	—
出資金評価損	5,100	—
売上債権の増減額 (△は増加)	242,127	528,588
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△185,152	113
長期前払費用の増減額 (△は増加)	—	17,652
仕入債務の増減額 (△は減少)	△153,749	△59,433
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△21,769	20,013
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	16,524	17,901
その他	5,600	8,643
小計	165,909	815,167
利息及び配当金の受取額	1,598	1,705
利息の支払額	△13,831	△11,638
法人税等の支払額	△41,116	△102,177
法人税等の還付額	24,312	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	136,872	703,056
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△38,884	△133,520
有形固定資産の売却による収入	—	2,714
ソフトウェアの取得による支出	△6,165	△4,866
出資金の払込による支出	△8,657	△35,771
出資金の回収による収入	15,935	2,505
その他	1,340	304
投資活動によるキャッシュ・フロー	△36,431	△168,633
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	3,500,000	4,380,000
短期借入金の返済による支出	△3,500,000	△3,980,000
リース債務の返済による支出	△19,300	△29,045
長期借入れによる収入	—	500,000
長期借入金の返済による支出	△8,332	△20,840
自己株式の取得による支出	△4	—
配当金の支払額	△24,838	△49,791
財務活動によるキャッシュ・フロー	△52,474	800,322
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	47,966	1,334,746
現金及び現金同等物の期首残高	1,435,416	737,807
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,483,382	2,072,553

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間(自 平成22年6月1日 至 平成22年8月31日)

	広告ソリューション事業 (千円)	テクニカルソリューション事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	900,113	1,015,148	1,915,262	—	1,915,262
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	3,134	70,487	73,621	(73,621)	—
計	903,248	1,085,636	1,988,884	(73,621)	1,915,262
営業利益	53,131	122,081	175,212	(101,381)	73,830

(注) 1 事業区分の方法

事業は取扱品目の類似性を考慮して区分しております。

2 各区分に属する主要な事業内容

事業区分	主要事業内容
広告ソリューション事業	映像を中心とした企画制作、コマーシャル制作
テクニカルソリューション事業	デジタル映像機材を駆使した演出、各種映像のデジタル加工

前第2四半期連結累計期間(自 平成22年3月1日 至 平成22年8月31日)

	広告ソリューション事業 (千円)	テクニカルソリューション事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	1,673,301	2,099,682	3,772,984	—	3,772,984
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	3,639	125,205	128,844	(128,844)	—
計	1,676,940	2,224,888	3,901,828	(128,844)	3,772,984
営業利益	79,820	310,966	390,786	(198,727)	192,059

(注) 1 事業区分の方法

事業は取扱品目の類似性を考慮して区分しております。

2 各区分に属する主要な事業内容

事業区分	主要事業内容
広告ソリューション事業	映像を中心とした企画制作、コマーシャル制作
テクニカルソリューション事業	デジタル映像機材を駆使した演出、各種映像のデジタル加工

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間（自平成22年6月1日至平成22年8月31日）及び前第2四半期連結累計期間（自平成22年3月1日至平成22年8月31日）
本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第2四半期連結会計期間（自平成22年6月1日至平成22年8月31日）及び前第2四半期連結累計期間（自平成22年3月1日至平成22年8月31日）
海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

【セグメント情報】

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号平成20年3月21日）を適用しております。

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、サービス等の類似性を考慮して、「広告ソリューション事業」及び「テクニカルソリューション事業」の2つを報告セグメントとしております。

「広告ソリューション事業」は、キャンペーンやイベント、展示会、テレビコマーシャル等の企画制作をしております。「テクニカルソリューション事業」は、デジタル映像機材を駆使した演出技術・映像加工技術を提供しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間（自平成23年3月1日至平成23年8月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	広告ソリューション事業	テクニカルソリューション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,142,652	1,958,251	4,100,903	—	4,100,903
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,343	212,057	213,401	△213,401	—
計	2,143,996	2,170,308	4,314,304	△213,401	4,100,903
セグメント利益	154,064	294,867	448,932	△212,043	236,888

(注) 1 セグメント利益の調整額△212,043千円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結会計期間(自 平成23年6月1日 至 平成23年8月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	広告ソリューション事業	テクニカルソリューション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,004,228	1,067,921	2,072,149	—	2,072,149
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,000	44,907	45,907	△45,907	—
計	1,005,228	1,112,829	2,118,057	△45,907	2,072,149
セグメント利益	47,404	197,222	244,627	△95,794	148,833

(注) 1 セグメント利益の調整額△95,794千円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

当第2四半期連結会計期間(自 平成23年6月1日 至 平成23年8月31日)

固定資産の取得

当社は、平成23年10月7日開催の取締役会において、以下のとおり固定資産の取得を決議いたしました。

1. 固定資産の取得目的

事業の集約化及び業務の効率性等向上のため、自社ビル建設用地として、下記の固定資産を取得することといたしました。

2. 新規に取得する固定資産の概要

- | | |
|-------------|------------------|
| (1) 固定資産の種類 | 土地 |
| (2) 所在地 | 東京都港区西麻布三丁目2番31号 |
| (3) 面積 | 741.92㎡ |
| (4) 購入予定価額 | 1,080,000千円 |
| (5) 取得時期 | 平成23年11月(予定) |

4. 補足情報

(1) 制作、受注及び販売の状況

① 制作実績

当第2四半期連結累計期間における制作実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	金額(千円)	前年同四半期比(%)
広告ソリューション事業	1,408,167	26.2
テクニカルソリューション事業	1,413,322	△14.1
合計	2,821,490	2.2

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2 金額は、総製造費用によっております。
 3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 4 第1四半期連結会計期間より、マネジメントアプローチに基づく報告セグメントの区分に変更しておりますが、セグメント情報の区分に変更はないため、対前年同四半期比を記載しております。

② 受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
広告ソリューション事業	2,449,018	45.5	1,429,823	52.4
テクニカルソリューション事業	2,081,026	△10.9	539,449	△11.8
合計	4,530,044	12.7	1,969,273	27.1

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 3 第1四半期連結会計期間より、マネジメントアプローチに基づく報告セグメントの区分に変更しておりますが、セグメント情報の区分に変更はないため、対前年同四半期比を記載しております。

③ 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
広告ソリューション事業	2,142,652	28.0
テクニカルソリューション事業	1,958,251	△6.7
合計	4,100,903	8.7

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2 第1四半期連結会計期間より、マネジメントアプローチに基づく報告セグメントの区分に変更しておりますが、セグメント情報の区分に変更はないため、対前年同四半期比を記載しております。